

第16章 技術開発・イノベーション

1. 運輸分野の技術・情報化全般に係る施策・制度

和暦	事柄
H15.11.21	「－技術が支える明日の暮らし－国土交通省技術基本計画」策定
H18.10.25	「国土交通分野イノベーション推進本部」の設置
H20.4.14	第2期国土交通省技術基本計画の策定・公表
H24.12.7	第3期国土交通省技術基本計画の策定
H29.3.31	第4期国土交通省技術基本計画の策定・公表

2. ITS・ETC・ASVなど道路交通分野

和暦	事柄
H3.6.28	第1回先進国安全自動車推進検討会の開催
H4.6.29	先進安全自動（ＡＳＶ）推進検討会の検討結果発表（平成３年度）
H6.11.30	第1回ITS (Intelligent Transport System) 世界会議（パリ（～12月3日）
H7.11.9	第2回ITS (Intelligent Transport System) 世界会議（横浜（～11日）
H8.3.13	先進安全自動車(ASV)の研究成果報告及び試作車発表会の開催（～15日）
H8.7.8	「高速道路交通システム（ITS）推進に関する全体構想について」の策定
H9.4.15	ASV(先進安全自動車) 開発推進計画における研究開発項目の決定
H11.4.16	ASV研究成果中間報告会を開催
H12.3.30	超小型自動車の技術指針の公表及び車両展示会の開催
H13.3.30	ETC一般運用開始(千葉地区等63料金所)
H13.3.30	首都高速道路11料金所においてETCのサービス開始
H13.10.19	第3期第1回のASV（先進安全自動車）の推進検討会の開催
H13.11.30	ETCの全国展開(616料金所に拡大)及びETC期間限定特別割引の開始
H15.6.9	燃料電池自動車実用化促進プロジェクト開始（第1回検討会開催）
H15.6.10	ETCセットアップ件数100万件突破
H15.12.14	ETCセットアップ件数200万件突破
H16.8.10	330万台のETC普及促進策を公表
H16.9.7	ETC利用率が20%を突破
H18.5.2	全国のETC利用率が60%を突破
H18.9.5	第4期先進安全自動車（ＡＳＶ）推進計画 開始
H23.3.30	ITSスポットサービスを全国で開始
H24.1.25	第5期 先進安全自動車（ASV）推進検討会の開催
H30.8.30	トラック等の運行管理の効率化やドライバーの安全確保を目的とした、「ETC2.0車両運行管理支援サービス」を本格導入

3. 鉄道分野

和暦	事柄
S63.6.2	超電導磁気浮上式鉄道プロトタイプによる実験走行で時速374.8kmを達成
H3.5.21	常電導磁気浮上式鉄道HST都市内交通機関として実用化に向け、走行試験開始（中部HST開発）
H9.4.3	超電導磁気浮上式鉄道山梨実験線において走行実験開始
H9.12.24	山梨リニア実験線において、実験車両MLX01が、実験線における目標最高速度550km/hを達成。
H10.11.13	運輸技術審議会より答申「今後の鉄道技術行政のあり方について」
H11.4.9	軌間可変電車（フリーゲージトレイン）、米国コロラド州プエブロの試験線において高速走行試験及び耐久性確認試験等を開始
H13.1.31	フリーゲージトレイン累積走行距離約60万キロ（最高速度246km/h）を達成し、米国プエブロ試験線における高速走行試験終了
H13.10.19	フリーゲージトレイン 国内走行試験開始（山陽新幹線及び在来線）
H19.4.14	JR北海道DMV（デュアル・モード・ビークル）を「藻琴～浜小清水間」にて試験的営業運行開始
H21.7.28	超電導磁気浮上式鉄道実用技術評価委員会において、「超高速大量輸送システムとして運用面も含めた実用化の技術の確立の見通しが得られた」との評価とりまとめ
H23.10.27	軌間可変電車（フリーゲージトレイン）について、軌間可変技術評価委員会が「実用化に向けた基本的な走行性能に関する技術は確立している」と評価

4. 港湾・海洋分野

和暦	事柄
H1.6.29	新形式超高速船（テクノスーパーライナー'93）の開発研究着手
H2.7.13	原子力船「むつ」、初の原子力による航行
H4.2.14	原子力船「むつ」、約1年間にわたる実験航海を終了
H4.7.3	世界初の超伝導電磁推進実験船「ヤマト」竣工、引き渡し
H7.3.2	波力発電の実用化成功
H7.4.6	超大型浮体式海洋構造物（メガフロート）の研究開発着手
H7.6.30	テクノスーパーライナー実海域実験船「飛翔」による総合実験の開始
H7.7.22	原子力船「むつ」解役工事最終段階の原子炉室撤去・移送工事完了
H7.11.10	テクノスーパーライナー実海域実験船「飛翔」による総合実験の実験運航の終了
H8.7.18	超大型浮体式海洋構造物（メガフロート）の公開実験、300m浮体模型完成
H9.4.1	TSL防災船「希望」デビュー
H9.4.11	スーパーマリンガスタービン技術研究組合設立
H10.4.1	メガフロートの空港利用に関する実証的研究（フェーズ2）開始
H11.9.1	メガフロートの防災拠点実証実験実施
H12.7.5	メガフロートで航空機による離着陸実験公開
H14.9.19	スーパーマリンガスタービンの公開試運転成功
H14.12.2	AISを活用した次世代型航行支援システムの実証試験実施（公開試験）（～17日）
H15.1.15	TSL実用化第1船の造船契約及び備船契約締結
H16.7.1	船舶自動識別装置（AIS）を活用した次世代型航行支援システムの運用開始
H16.11.9	「スーパーエコシップ技術研究組合」の設立認可

5. 航空分野

和暦	事柄
H17.2.26	運輸多目的衛星新1号（ひまわり6号）の打ち上げ成功
H17.10.1	航空交通管理（ATM）センター発足
H18.2.16	各種情報システムの移行・更新によるATMC（航空交通管理センター）本格稼働
H18.2.18	運輸多目的衛星新2号（ひまわり7号）の打上げ成功
H19.7.1	航空情報センター運用開始
H19.7.19	運輸多目的衛星（MTSAT）新2号による航空管制業務の開始
H19.9.27	航空機の効率的な運航を確保するためのRNAV（広域航法）の本格導入
H19.10.9	三菱重工業（株）が、MRJ（Mitsubishi Regional Jet）型機の型式証明を申請し、国産旅客機の開発プロジェクトが本格的に始動
H27.11.11	三菱リージョナルジェット（MRJ）の飛行試験初号機による初飛行及び国土交通大臣談話の発表
H27.11.17	無人航空機の飛行の許可等の事前受付開始（航空法施行規則の一部を改正する省令等の制定）
H28.2.24	政府初の無人航空機による貨物輸送実験を実施
H30.6.15	空の産業革命に向けたロードマップ2018（小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会取りまとめ）を決定
H30.12.20	第4回空の移動革命に向けた官民協議会を開催し石井国土交通大臣が出席（空の移動革命に向けたロードマップを取りまとめ）
H31.3.4	航空局のパイロットによるMRJの飛行試験を開始

6. 情報化

和暦	事柄
H4.6.3	物流EDI研究会発足
H8.2.1	運輸省行政情報ネットワークシステムの構築
H8.2.1	「海上安全情報」の放送手段をモールス無線電信（中波及び中短波帯）からナブテックス放送に移行
H8.6.24	平成8年度運輸省行政情報化実施計画策定
H8.10.1	汎用電子乗車券技術研究組合設立認可
H9.1.6	各省庁、関係機関をネットワークで結んだ霞が関WANへ接続
H10.4.27	インターネットを使用した旅行商品販売開始
H10.6.30	汎用電子乗車券の実証実験の開始
H11.3.26	「次世代物流システムの調査研究会」報告書発表
H11.4.1	ディファレンシャルGPSの全国運用開始
H11.10.4	汎用電子乗車券技術研究組合解散

H11.10.12	港湾EDIシステム稼働
H12.12.1	札幌市において「総合交通情報提供システム」のモデル実験を開始
H13.10.31	「国土交通省における行政情報の電子的提供の推進に関する実施方針」の制定
H13.11.18	JR東日本ICカード「Suica」を導入
H15.11.1	JR西日本ICカード「ICOCA」を導入
H16.8.1	JR東日本ICカード「Suica」・JR西日本ICカード「ICOCA」の相互利用開始
H17.4.18	浅草ユビキタス観光ガイド実証実験(～5月31日)
H18.10.7	自律移動支援プロジェクト 奈良自律移動支援プロジェクト実証実験の開始
H19.1.30	空港手続きの電子化に関する実証実験を開始(～3月23日)
H19.3.18	首都圏において鉄道・バス共通ICカード乗車券「PASMO」サービス開始、「Suica」との相互利用サービス開始
H19.5.21	公共交通情報サービスの実証実験を開始
H20.10.12	次世代シングルウィンドウ（府省共通ポータル）が稼働開始～輸出入・港湾手続の電子申請窓口を完全一本化
H25.3.23	交通系ICカード全国相互利用サービス開始